

# 横浜市 麻疹流行情報 6号

横浜市衛生研究所 / 横浜市健康福祉局健康安全課

第25週(6/17~23)は患者の報告がありませんでした。

- ◆ 2015年に日本が麻疹排除国に認定されてから、海外で麻疹(はしか)に感染して国内で発病する事例は報告されていましたが、4月以降、**海外渡航歴のない感染経路不明の麻疹感染の報告が続き、その麻疹患者との接触による感染も報告されています。**
- ◆ 麻疹は非常に感染力が強く、その予防には2回の予防接種が必要です。**麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)を確実に接種しましょう。**
- ◆ 感染が疑われる際は、**必ず医療機関に事前に電話連絡の上、マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて、早めに受診しましょう。**

## 1 麻疹(はしか)とは?

感染経路は空気感染、飛沫感染や接触感染など様々で、感染力はとても強く、免疫がない人が感染するとほぼ100%発症します。潜伏期間は10~12日ほどで、熱やせき、鼻水など、風邪のような症状が出て、数日すると38℃以上の高熱と、全身の赤い発しんが出現します。肺炎や脳炎などの合併症を併発すると、時に命に関わることもあります。

熱やせきなどの症状が出現する1日前(発しん出現の3~5日前)から発しん出現後4~5日(または解熱後3日)くらいまで、周りの人に感染させる力があります。感染拡大防止のため、なるべく外出を控えるなどの行動の注意が必要です。

- ◆ 参考:[麻疹について\(国立感染症研究所\)](#) [麻疹・風疹について\(横浜市保健所\)](#)

## 2 麻疹患者の発生状況(4月22日以降)(市内感染症発生動向調査:2019年6月26日現在)

6月17日~23日の週は市内では麻疹患者の報告はありませんでしたが、首都圏を中心に麻疹患者の報告があるため、まだ注意が必要です。

麻疹を疑う症状が現れた場合は、必ず医療機関へ事前に電話連絡の上、マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて、早めに受診してください。

## 3 予防接種について

麻疹は、予防接種法による定期予防接種の対象疾病です。現在実施している定期予防接種では、「麻疹・風疹混合ワクチン」(MRワクチン)を2回接種します。

【標準的な接種期間】 1期:1歳以上2歳未満 2期:5歳から7歳未満で小学校就学前1年間

- ◆ 参考:[麻疹風疹予防接種について\(横浜市保健所\)](#)

